

真面目に会社に数十年間、勤めた幹部社員や営業職員は、顧客に信用がなくなってしまう現実辛いのに

会社経営者は退職金も拒否しないとは！誰の責任でこんな会社にしたのか明確にすべき

安田生命と明治生命は対等合併といわれているが、真実であるのか、なぜ合併する必要があったのか説明すべきでないか！

東京新聞 平成17年11月23日 (水曜日) 朝刊

## 私説 論説室から

W君は入社二十二年を越す大手生保会社の中堅社員だった。実力が評価され近く有力ポストに就任すると予想されていた。だが突然、会社の不祥事が発覚。昇格人事どころか、去就を考えざるを得ない状況に立たされた。

「もう一つ腹立たしきにお金を支払わない。こんなことは保険契約者が困ったと」

「この会社は昨年一手を徹底的に調べてお月、同業大くべきなのに、その努力を怠った旧経営陣に併した。実も不信が募った。」

## ある中堅社員の涙

質は相手側による吸収合併だった。が、当時は強者連合と。もてはやされ、後輩たちが懸念された。しかし、結婚相手、の経営内容は最悪だった。

不祥事は相手会社で多発していた。営業職員が言葉巧みにだまし契約させ、契約者が支払いを求めると会社は告知義務違反などとして支払いに応じなかった。こんな不当な不払いが過去五年間で千件を超えていた。

見限られた会社は明治安田生命保険。これまでに数千人規模で社員や営業職員たちが同社を去っていったという。懸命に働いてきた社員たちの人生を大きく狂わせたことを、新経営陣は忘れてはならない。(大沢賢)